GLANSHIELD

取扱説明書

ver.1.3

Thermo-AI
サーモ·アイ

顔熱G4

[KAO-NETSU]

顔認証体表面温度測定器

本製品は体表面温度を測定する機械であり薬機法で定める体温計ではありません。
計測された数字は体表面温度であり体温計の数値とは異なります。

MADE IN CHINA

目　次

設置と準備…… 2

各部名称 …… 2

取付と設置 …… 4

本体設定…… 7

1. 警告温度を変更したい …… 7

2. アラーム音をオン／オフしたい …… 8

3. マスク有無検査をオン／オフしたい …… 9

4. 日付や時刻合わせをしたい …… 10

5. タイマー予約 …… 11

6. 測定温度の誤差を調整したい …… 12

7. その他の設定 …… 14

ご注意事項…… 15

製品仕様／お問い合わせ先…… 16

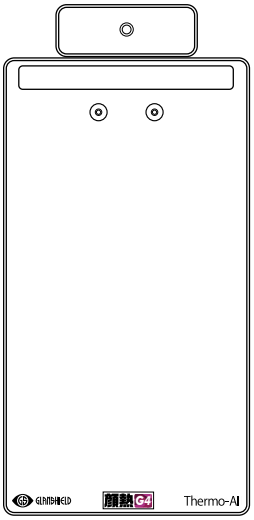
設置と準備

各部名称

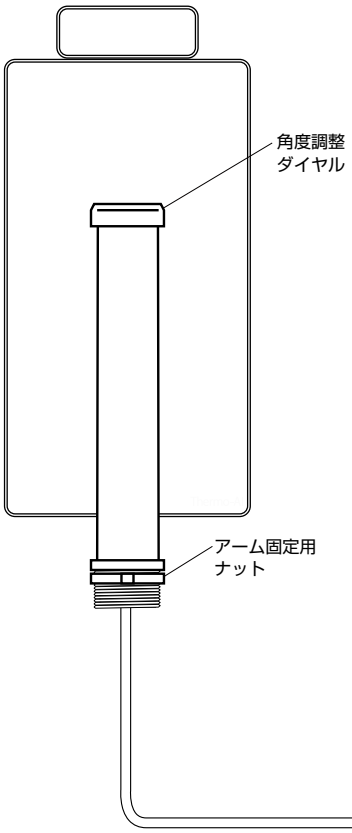
このたびは、「Thermo-AI（サーモ・アイ）顔熱 G4」をお買上げいただきましてまことにありがとうございます。本製品をご利用の前に、本書をよくお読みになり正しくお取り扱いください。

セット内容・各部名称

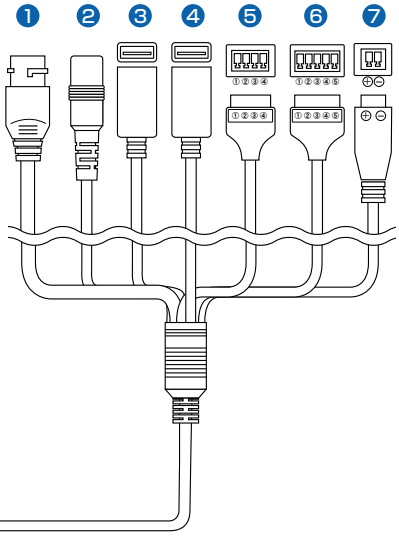
本体正面



本体背面

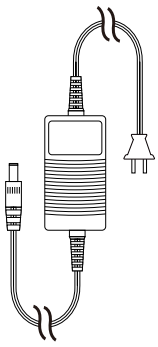


❶ 有線LANコネクター
❷ 電源ソケット
❸❹ USB
❺ Wiegandインターフェース1
❻ Wiegandインターフェース2
❼ リレースイッチ無電圧a接点



クイックマニュアル / 保証書

AC アダプター

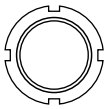


アーム用ゴムパッキン

延長ケーブル（8m）

検温実施中
アクリルプレート

アーム固定用ナット予備



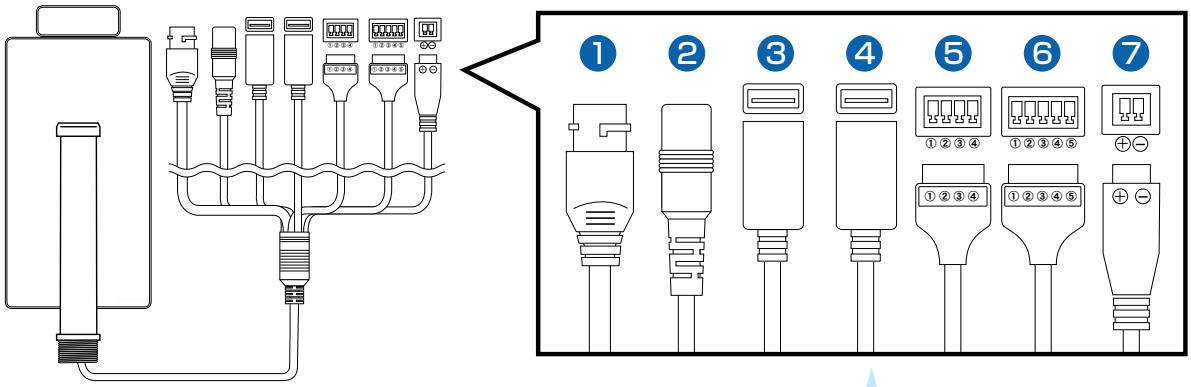
設置施設シール ×3

※付属品は内容や形状が変更する場合があります。

設置と準備

各部名称

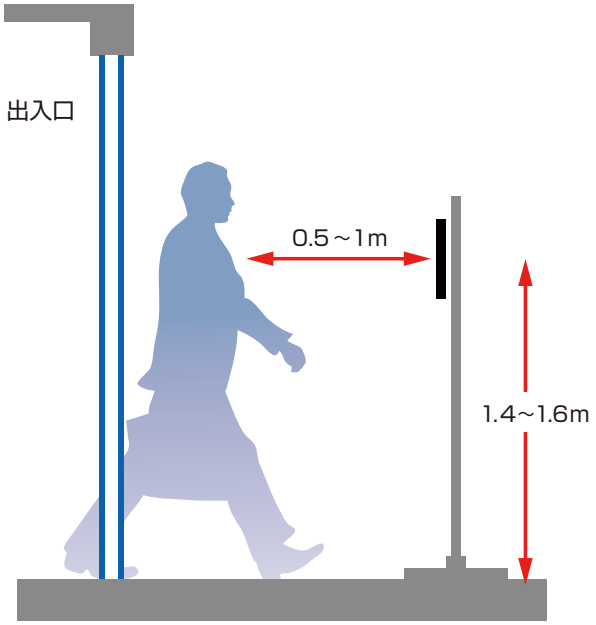
測定器インターフェース



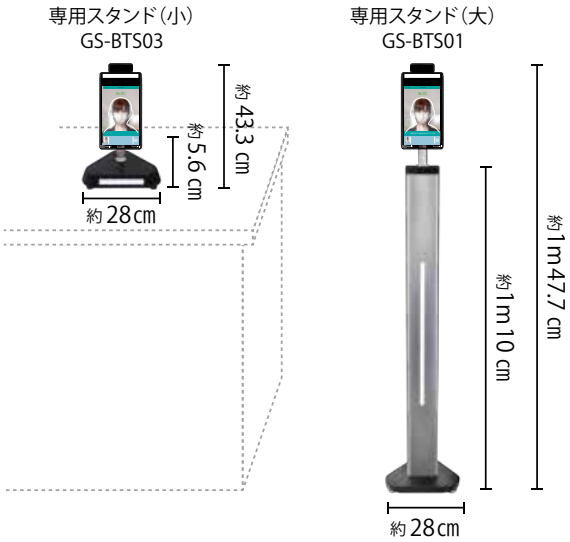
ハードウェアインターフェース

❶ 有線LANコネクター	RJ45 ネットワークインターフェース
❷ 電源ソケット	DC12V　12W以下
❸❹USB	マウス接続用、USBメモリー接続用
❺ Wiegandインターフェース1	1.VCC 2.GND 3.WDI 4.WDO
❻ Wiegandインターフェース2	1.TX1 2TX2(RS232Cシリアルポート) 3. WIDO 4.WID1 5.GND(3-5Wiegand出力)
❼ リレースイッチ無電圧a接点	Wiegand 26、34、66プロトコル

設置例



別売り専用スタンド レンタル可能



製品重量：1.5 kg　　製品重量：5.6 kg

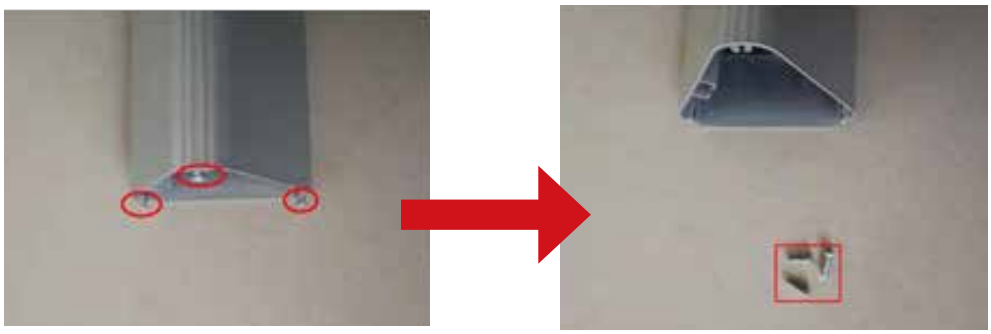
別売り スタンド オプション
設置場所に合わせたスタンドが選べます。レンタルも可能です。

設置と準備

取付と設置

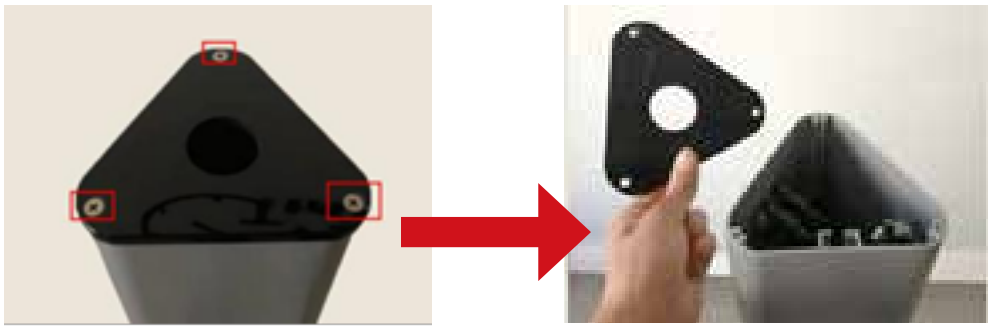
専用スタンド(大)の取付手順

① スタンド底のネジを取り外します。



② スタンドを台に取り付け、ネジを締めます。

③ ステー上部、黒の上部カバーを取り外します。

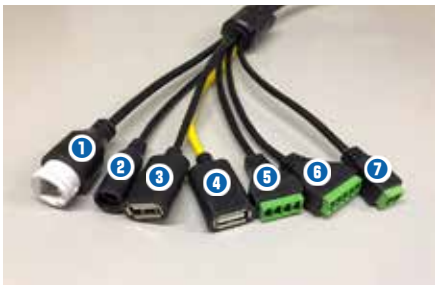


④ 顔熱 G4 のアーム固定用ナットを外し、配線コードをステー黒の上部カバーの穴に通します。アーム固定用ナットを締め、顔熱 G4 とステー黒の上部カバーを固定します。

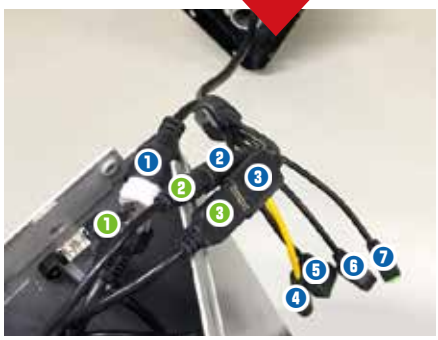
設置と準備

取付と設置

⑤ 顔熱 G4 とスタンドを配線します。双方の合致する番号の端子を接続します。顔熱 G4 の端子❹❺❻❼に接続するスタンド側の端子はありません。ご使用にはスタンド下部からの配線処理が別途必要となります。



[本体配線]
❶ 有線LANコネクター
❷ 電源ソケット
❸❹USB
❺ Wiegandインターフェース1
❻ Wiegandインターフェース2
❼ リレースイッチ無電圧a接点



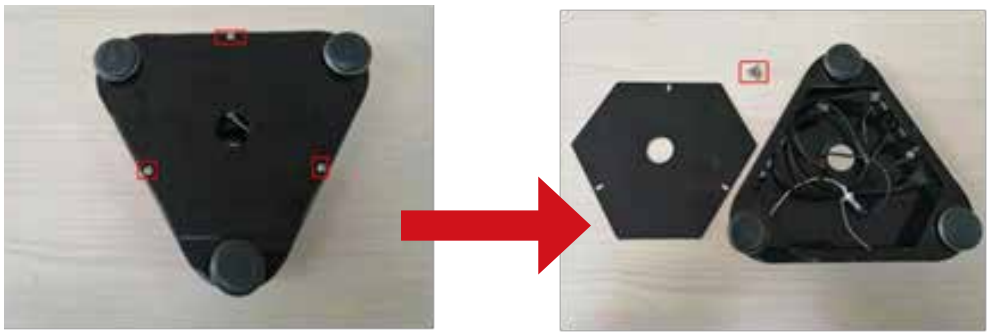
[スタンド内配線]
❶有線LANコネクター
❷電源ソケット
❸USB

⑥ スタンド内へ配線ケーブルを収納します。

⑦ 顔熱 G4 をスタンドに固定して取付完成です。付属の AC アダプターをスタンド下部の差込口に挿入し電源と接続します。顔熱 G4 が起動し画面が立ち上がり、待機中画面表示になります。人を感知して温度測定及びマスク有無判定が開始されます。

専用スタンド(小)の設置手順

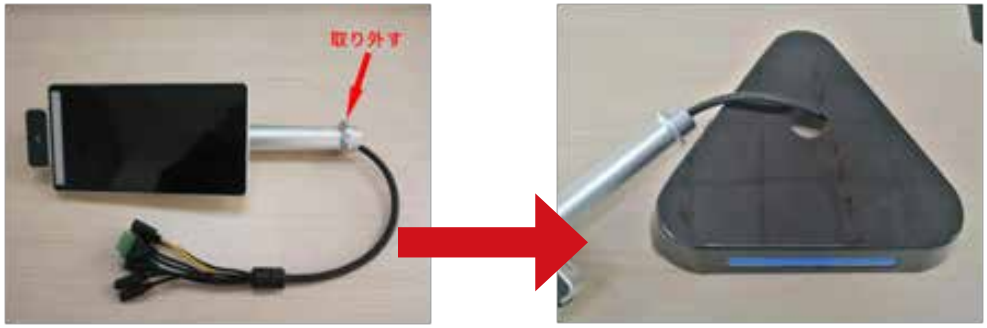
① 台座裏のネジを取り外します。



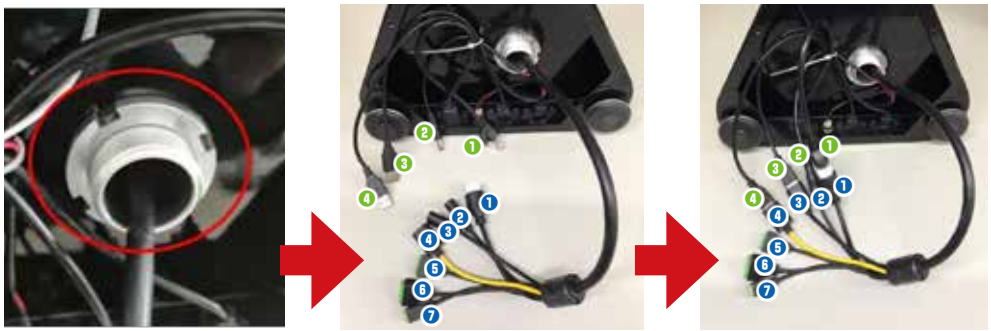
設置と準備

取付と設置

② 顔熱 G4 のアーム固定用ナットを外し、本体コードを台座の穴に通します。



③ 顔熱 G4 をアーム固定用ナットで台座に固定します。顔熱 G4 と台座を配線します。双方の合致する番号の端子を接続します。顔熱 G4 の端子❺❻❼に接続するスタンド側の端子はありません。ご使用にはスタンド下部からの配線処理が別途必要となります。



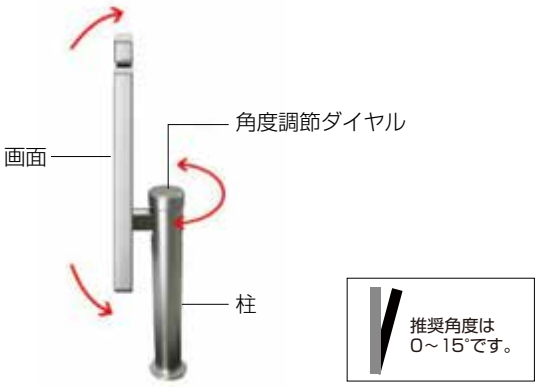
[スタンド内配線]
❶ 有線LANコネクター
❷ 電源ソケット
❸❹USB

[本体配線]
❶ 有線LANコネクター
❷ 電源ソケット
❸❹USB
❺ Wiegandインターフェース1
❻ Wiegandインターフェース2
❼ リレースイッチ無電圧a接点

④ 台座内に配線コードを収納し、台座の底板を 3 本のネジを締めて取付完成です。付属の AC アダプターをスタンド下部の差込口に挿入し電源と接続します。顔熱 G4 が起動し画面が立ち上がり、待機中画面表示になります。人を感知して温度測定及びマスク有無判定が開始されます。

顔熱 G4 画面の角度調節

角度調節ダイヤルを緩めると、顔熱 G4 の画面の角度を調節することができます（推奨角度は 0 ～ 15°です）。角度調節後は再度ダイヤルを締めて固定します。



本体設定

1. 警告温度を変更したい

① 本体設定画面の「測定設定」タグから以下のタッチパネル操作をします。「自動温度調整」ボタンをタップします。

② 「警報温度」の数値をタップします。

※初期設定は 37.5℃になっています。

【ご注意】自動温度調整画面内にある項目のうち、「警告温度」「アラーム音」以外の項目は触らないでください。もし、各項目が初期設定から外れてしまった場合は「設定のリセット」ボタンを押してください。各項目は工場出荷時の状態に戻ります。

③ 温度数字部分をタップし、タッチパネルでご希望の数値を入力。「保存」ボタンをタップします。

④ 再度現れた「保存」ボタンをタップします。「保存」ボタンをタップしないと、温度が変更されません。

⑤「再起動」ボタンをタップします。自動的に検温画面が立ち上がります。

警告温度が変更されました。

本体設定

2. アラーム音をオン／オフしたい

① 測定された温度が警報温度を超えたときのアラーム音をオン／オフすることができます。本体設定画面の「測定設定」タグから以下のタッチパネル操作をします。「自動温度調整」ボタンをタップします。

② 「アラーム音」のスイッチを左にスライドするとオフになります。右にスライドするとオンになります。スイッチの色はオンが青緑、オフがグレーになります。

※初期設定はオンになっています。

【ご注意】自動温度調整画面内にある項目のうち、「警告温度」「アラーム音」以外の項目は触らないでください。もし、各項目が初期設定から外れてしまった場合は「設定のリセット」ボタンを押してください。各項目は工場出荷時の状態に戻ります。

③ 設定を変更したら「保存」ボタンをタップします。

④ 「再起動」ボタンをタップします。自動的に検温画面が立ち上がります。

アラーム音の設定が変更されました。

3. マスク有無検査をオン／オフしたい

① マスク有無検査をオン／オフすることができます。本体設定画面の「測定設定」タグから以下のタッチパネル操作をします。「顔認証設定」ボタンをタップします。

② マスク有無検査を実施したいときは、「マスク検査」のスイッチを右にスライドし、オンにします。検査を停止したいときはスイッチを左にスライドし、オフにします。スイッチの色はオンが青緑、オフがグレーになります。

※初期設定はオンになっています。

【ご注意】「マスクなし時の検温拒否」をオンにすると、マスクが無い場合には温度を測りません。顔認識設定画面内にある項目の内、「マスク検査」「マスクなし時の検温拒否」「生体検査」以外の項目は触らないでください。もし、各項目が初期設定から外れてしまった場合は「設定のリセット」ボタンを押してください。各項目は工場出荷時の状態に戻ります。

③ 設定を変更したら「保存」ボタンをタップします。「保存」ボタンをタップしないと反映されません。

④「再起動」ボタンをタップします。自動的に検温画面が立ち上がります。

マスク有無検査の設定が変更されました。

4. 日付や時刻合わせをしたい

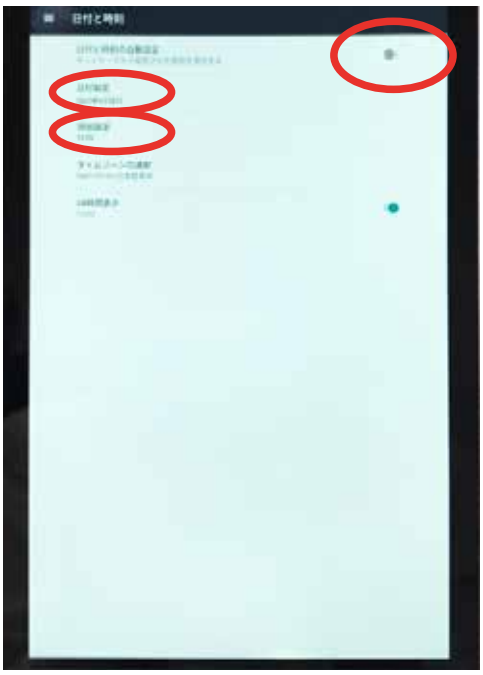
本機はインターネットに接続されていれば自動的に時刻を合わせますが、インターネット接続が無い場合でも、手動で日付や時刻を合わせることができます。

① 画面最下部を上フリックし、ナビゲーションバーを表示します。中央のホームボタンをタップします。

② アンドロイド設定画面を表示させ「Settings」ボタンをタップします。

③ 画面下方の「日付と時刻」項目をタップします。

④「日付と時刻」ページの「日付と時刻の自動設定」のスイッチをタップして、スイッチをオフにします (色がグレーになります)。「日付設定」「時刻設定」が手動で修正できるようになります。



⑤ ④の画面の「日付設定」「時刻設定」をタップすると、設定画面が表示されますので、日付や時刻を設定してください。

⑥ 最後に「日付と時刻の自動設定」をタップしてスイッチをオンにしてください。

5. タイマー予約

タイマーを設定することにより、時刻で本体のオン／オフが自動で制御できます。
例えば、月曜日から金曜日まで、本体動作を 9:00 から 18:30 の間でオンにしたい時などに使います。

① 「本体設定」タグをタップし「タイマースイッチ」ボタンをタップします。

② 「追加」ボタンをタップします。

③ 週間で必要な曜日を選択します（例では月から金まで）。

続いて開始時間の数字部分をタップします。

④ 時間と分を入力し、「保存」ボタンをタップします。同様に終了時間の設定も行います。

現在、不安定になっており、アップデートの対応中です。

⑤ 最後に「追加」ボタンをタップします。「追加」をタップしないと反映されませんのでご注意ください。

これで、予約した曜日の開始時間で本体を起動、終了時間で起動停止されます。

※画面右下には直近のオフ日時オン日時が表示されます。

●タイマー予約の変更
タイマー予約を変更するには、予約した部分をタップします。画面が変わるので「確定」ボタンをタップしてください。

設定画面が表示されます。曜日や時間を変更します。

●タイマー予約の削除
タイマー予約が不要になった場合は、時間数字部分を長押し、「削除」ボタンをタップしてください。

6. 測定温度の誤差を調整したい

① 本機で測定される温度は、使用環境などにより誤差が生じることがあります。その場合は以下の方法（半自動）で調整することができます。

本機の周囲に温度の高いものが無い状態にし、正確な体温計（放射温度計）で一人のおでこの温度を数回測定し、その平均値を計算します。ここでは例として 36.5℃だったとします。

② 本体設定画面の「測定設定」タグから以下のタッチパネル操作をします。「自動温度調整」ボタンをタップします。

③「自動温度調整」の数値をタップします。

④「追加」ボタンをタップします。

⑤「目標温度」をタップし、①で得た体温を入力します。ここでは例として 36.5 と入力し、「保存」をタップします。

6. 測定温度の誤差を調整したい

⑥ サーモアイ画面に①で温度を測った同じ人の顔を写します。本機が温度測定していることを確認し、開始ボタンをタップします。調整用の測定が開始されカウントダウンが始まります。

⑦ 約 10 秒ほどで「補正値」が自動的に算出されます。左上の矢印ボタンをタップして自動温度調整画面に戻ります。

⑧ 自動温度調整画面の「保存」ボタンをタップします。

⑨「再起動」ボタンをタップします。自動的に検温画面が立ち上がります。

これで測定温度の誤差を調整が完了しました。

7. その他の設定

本体でのスタッフ通行履歴の閲覧手順

本体で「履歴」をタップします。記録されている全ての履歴が（写真付きで）表示されます。インターネット接続していない場合や「シングルモード」時の記録もファイルで出力が可能です。データファイルは「エクスポート」をタップすることで、本体ストレージ内に保存されますので USB メモリーを差し込みデータファイルを USB メモリーにコピーしてください。データファイルはエクセル形式で提供されます。

パスワードの変更

お客様個々に、初期パスワードが設定されています。パスワードの変更には、本体の接続を「ネットワークモデル」から「シングルモード」に切り替える必要があります。

① ホーム画面右下の ⚙「設定」ボタンをタップし、ログインします。「本体設定」のタグをタップします。

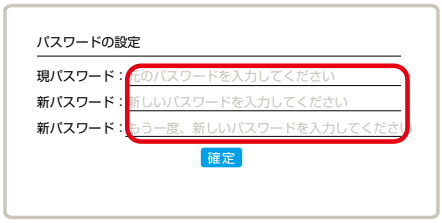
② 「切り替えモード」ボタンタップします。

③ 「ネットワークモデル」から「シングルモード」に切り替え、「保存」ボタンをタップしてください。

ホーム画面に戻りますので、右下の ⚙「設定」ボタンをタップ、再度ログインします。

④ 「本体設定」画面で、「パスワードの変更」ボタンをタップして、設定画面へ入ります。

⑤ パスワード変更をしてください。入力したら「確定」ボタンをタップします。



⑥ パスワードの変更が完了すると、「本体設定」画画に戻ります。本体の接続を「シングルモード」から「ネットワークモデル」に戻すため、「切り替えモード」ボタンをタップ。「シングルモード」から「ネットワークモデル」に切り替え、「保存」ボタンをタップしてください。

ご注意事項

本体入出力インターフェースについて

① AC アダプター差込口には、付属の12V 2AタイプACアダプターをお使いください。

② 有線 LAN コネクターは Wi-Fi がお使いになれない環境でネットワークにつなげたい時に、LAN ケーブルで接続するための端子です。DHCP がオンになっています。IPV4 はアンドロイドの情報らんから確認することができます。

③ USB は、本体がネットワークに接続できない場合にデータをエクスポートする時に使います。またマウスを接続して本体操作をマウスで行うこともできます。USB は「黒」を優先してお使いください。

④ リレースイッチ無電圧 a 接点は、通過信号が立った時に、約1秒間端子間が導通します。この出力はゲートシステムを開くためのトリガーとして利用できます。リレー接点のため無電圧で絶縁されていますが、仕様書記載の容量内でご利用ください。

⑤ ゲートシステム用 Wiegand 信号端子を2種類付属しています。この機能はサポート対象外となりますのでご注意ください。

仕様・操作上の制約について

- PC「EFACE」操作及び本体での操作について、本書に紹介した手順以外の操作はできません（サポート対象外です）。
- マスクの色・柄、マスクの付け方（半掛け等）によって本機は当該マスクを認識しない場合があります。
- 被測定体の背面が体温に近い場合、本機は背面の温度を測定する場合があります。本機での測定する方向に温度が高くなるものや太陽が差し込む窓・壁が無い場所をお選びください。
- 本機は屋外ではご使用になれません。また、35℃を超える環境下、結露する環境下ではご使用になれません。
- 本体仕様及び画面表示・操作手順は改善等のために予告なく変更されることがあります。

⚠警告

禁止
本製品を加熱しないでください。また、火中に投入、高温になる場所で設置、使用、保管しないでください。
破裂、発火、発熱、火災の原因となります。

分解禁止
分解・改造をしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。

禁止
本製品を投げたり、落としたりして、強い衝撃を与えないでください。
故障、感電、破裂、発火、発熱、火災の原因となります。

強制
熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は、すみやかに電源を切ってください。
故障、感電、破裂、発火、発熱、火災の原因となります。

禁止
ほこりの多い場所での使用、保管をしないでください。
発煙、火災の原因となります。

禁止
本製品を狭い場所や風通しの悪い場所で使用しないでください。
破裂、発火、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

禁止
本製品は、幼児の手の届くところに置かないようにしてください。
ケガの原因になることがあります。

禁止
直射日光の当たる場所（自動車内など）、極端に高温になる場所で使用および保管しないでください。
故障や変形の原因となります。レンズに直射日光が長時間当たると発火、火災の原因となります。

禁止
腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。
故障の原因となります。

禁止
本製品を強い磁界が発生する場所に設置しないでください。
故障の原因となります。

禁止
本製品は不安定な場所や振動が発生する場所に設置しないでください。
転倒、落下してけがや故障の原因となります。

強制
設置する際はしっかりと固定してください。
転倒、落下してけがの原因となります。
取付は確実に行ってください。

強制
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
わからない時は自治体に問い合わせをして、正しい方法で廃棄してください。

強制
本製品に触れる前にドアノブやアルミサッシに手を触れて、静電気を取り除くようにしてください。
体などからの静電気は、本製品を破損させる原因となります。

製品仕様／お問い合わせ先

製品仕様	
型式	GS-BT02
商品名	Thermo-AI 顔熱G4（サーモ・アイ顔熱G4）
色	ブラック
JAN	4580383120367
表示モニター	対角8インチ、画素数800x1280、輝度500cd/m2 LCD
入力インターフェース	タッチスクリーン
OS	Android7.1.2

温度測定	
センサー	熱画像赤外線温度センサー
温度測定	範囲：35～42℃/誤差±0.3℃
検出距離	0.5m～1m
温度アラート機能	しきい値設定可能

カメラ・顔認証	
カメラ解像度	1920x1080
カメラ画角	上下50° 左右40°
顔認証登録数	20000（最大）
認識時間	0.3秒(typ)
音声アラート機能	マスク検出設定可能
生体検出	設定可能

ハードウェアインターフェース	
電源アダプター	入力：100-240V～50/60Hz 0.8A　出力：12V 2A
電源電圧・消費電力	DC12V、12W以下
ネットワークインターフェース	WiFi(2.4GHz)、RJ45 10M/100Mｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
スイッチインターフェース	リレー出力（無電圧a接点） （リレー接点容量：電圧最大AC250V、電流最大2A）
USB	マウス接続用、USBメモリー接続用
ウィーガンド	Wiegand 26bit、34bit、66bit
音声	内蔵スピーカー

一般仕様	
動作環境温度	10℃～35℃
動作環境湿度	0%～90%(結露なきこと)
本体角度調整範囲	上向き10°、下向き20°
本体サイズ	約128×260×20mm（W×H×D） ※後部アーム含まず
本体重量	約900g　※後部アーム含む
製品箱サイズ	約175×127×440mm（W×H×D）
製品箱重量	約1685g
付属品	ACアダプター、延長ケーブル（8m）、アーム固定用ナット、クイックマニュアル、 検温中アクリルプレート、設置施設ステッカー
希望小売り価格	448,000円(税抜)

取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。こちらの取扱説明書に掲載されている内容は、現時点で発売されている機種に同梱されている取扱説明書の内容と異なる場合がありますのでご了承下さい。

FAQ お問い合わせフォーム ： http://glanshield.com/faq/

ナビダイヤル 0570-004154 受付時間 / 平日 10：00 ～ 16：00

お電話を頂く前に・・・

トラブルシューティングは「FAQお問い合わせフォーム」より、サポートに必要な情報を頂くことが前提となっております。順次、ご入力いただいた情報とご質問内容をもとに、メールまたはチャット、お電話にてお返事させていただきます。

本製品に関するお問い合わせ

株式会社ダイトク　〒334-0013　埼玉県川口市南鳩ケ谷 4-8-6
サポートメール　：glanshield-support@daitoku-p.co.jp
ホームページ　　：http://glanshield.com/

顔熱G4
最新の製品情報は
こちらから ▶